



測定随時受付中

ちくりん舎は、行政から独立して放射能汚染を監視・測定、情報発信する市民団体・個人の共同ラボです。

市民放射能監視センター

●共同ラボ & 事務所

〒190-0181

東京都西多摩郡日の出町

大久野 7444

●電話 & FAX

042-519-9378

●電子メール

lab.chikurin@gmail.com

ゲルマ2台体制がスタートしました ミレーン2、いよいよ本格稼働！

本年3月にゲルマ2台体制へ向けて寄付の呼びかけをお願いしましたが、6月末時点で会員の皆さんを中心に団体から37万円、個人から71万円の寄付をいただきました。目標額の100万円を超える寄付により、2台目のGe測定器を7月から稼働させることができました。ご協力本当にありがとうございました。なお、2台目はミレーン2*と命名しました。

これからは尿、水、食品、リネンなど下限値の低い長時間測定を今までの倍こなせます。また測定料も長時間測定でかなり低価格にできますので、皆さんの測定監視活動に大いにご利用ください（新価格については改めてお知らせします）。

能、使い勝手が非常によくできていたので、ミレーン2の遮蔽体も全く同一の仕様とし、関西の鉛メーカーに設計、製作、据付を依頼しました。

- ・100mmの鉛シールド厚さ。
- ・最大2Lのマリネリをセットできる内のり寸法。
- ・前面から検体の出し入れを行える開閉式扉。
- ・同じ高さのテーブル。

色も揃えて、まるできょうだいのような作りにしています。

また、ミレーン1では1ブロック300kgを超える鉛板6個で構成されていますが、ミレーン2では万一の分解時に備え、1個が20kgを超えない鉛ブロックの積み重ね構造としました。

<ミレーン2紹介>

今回の2台体制に伴い、測定室を増築し、ミレーン2の鉛遮蔽体を新規に作成しました。鉛遮蔽体は、1トンを超える重量がある大物です。アクロから寄付されたミレーン1の鉛遮蔽体は、性



ミレーン2の新しい鉛遮蔽体

目次

- ゲルマ2台体制がスタートしました 1
- 2014年度総会、開かれる 3
- ちくりん舎の測定結果 4
- ちくりん舎会員紹介(7) 5
- 会員募集中 6

置き場所は従来の測定室を拡張し、ミレーン1と同様1トンを超える鉛の重量に十分耐えられるよう鉄筋コンクリートの基礎を新規に打ち、作業スペースも十分なゆとりをもたせました。

クレーン車で鉛シールド据え付け後、測定室の屋根、外壁を追加し、工事を完成させました。鉛遮蔽体の据え付けから増築に至る一連の工事は、ちくりん舎会員の大工さんに仕切っていただき、ミレーン1での測定業務を止めることなく、工事を無事終えることができました。

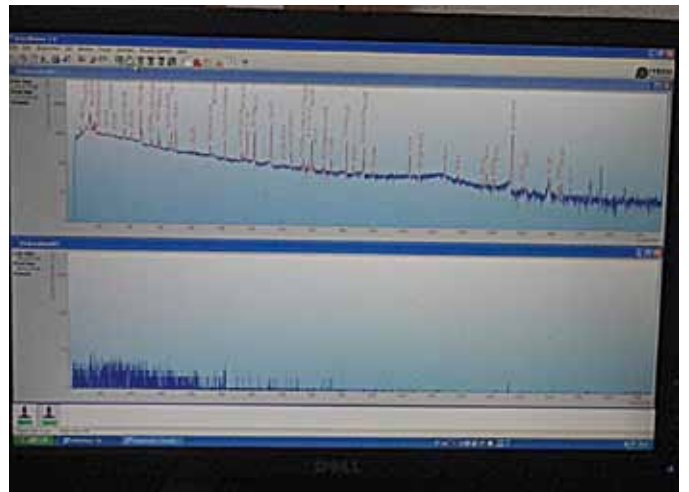
なお、懸案になっていた「ちくりん舎」の案内板もこの機会に2か所取り付けいただき、来訪される方の便を図りました。



クレーン車で鉛遮蔽体を設置



増築を終え、看板も設置



上半分がミレーン1の測定画面

下半分がミレーン2の測定画面

＜調整作業と結果＞

Ge測定器の調整は、ちくりん舎スタッフが2年間の何度かの入れ替え・校正の経験をもとに、マルチチャンネルアナライザ（MCA）の故障対応をメーカーに依頼した以外、すべて自力で行いました。

アクロから寄付されたソフトウェアは1つのソフトで複数の測定器の分析が行えます。この機能を利用し、調整作業もミレーン1での日常の測定業務を停止することなく、1週間でミレーン2の校正作業を終えることができました。

Geの検出器はメーカーもタイプも異なりますが、ほぼ同等の精度と効率を示しています。

このような経緯で、ミレーン2の本格稼働がスタートしました。

*1台目の「ミレーン」は、Ge測定器を寄付していただいたアクロの女性研究所長 Mylene さんのお名前にちなんでつけました。

（浜田和則 記）



2014 年度総会、開かれる

ちくりん舎の第2回総会は5月24日（日）、たましん RISURU ホール（立川市民会館）で行われました。

お陰さまで総会も併せて行われた活動報告会も盛会でした。総会議案も全て議案通りで議決されました。報告会で貴重なご報告を頂いた3氏及び出席頂いた会員の皆様には厚く御礼申し上げます。

◆活動報告会（ちくりん舎会員）

（1）鈴木譲さん（東京大学名誉教授・元大学院農学生命科学研究科附属水産実験所）「福島県のため池に棲むコイのセシウム蓄積と健康状態」

（2）伊藤教行さん（NPO 法人 R.I.La 主任研究員）「多摩エリアの河川における土壌の放射能汚染について」

（3）川根真也さん（内部被ばく市民研究会）「セシウムボールはホットパーティクル」

◆総会（いずれの議案も提出議案通り議決）

- ・第1号議案 2014 年度事業報告
- ・第2号議案 2014 年度会計報告
(収支報告・活動計算書・貸借対照表・財産目録)
- ・第3号議案 2014 年度監査報告
- ・第4号議案 監事選任
- ・第5号議案 2015 年度事業計画（案）
- ・第6号議案 2015 年度予算（案）



総会の様子

a. 貸借対照表

勘定科目名	金額
資産の部	
【流動資産】	859,046
（当座資産）	831,546
現金	0
振替預金	667,628
総合預金	163,918
（未収入金）	27,500
【固定資産】	1,982,824
（有形固定資産）	1,982,824
工具器具備品	1,982,824
資産合計	2,841,870
負債の部	
【流動負債】	1,660,140
（借入金）	700,000
（未払金）	890,140
（未払法人税等）	70,000
【固定負債】	0
負債合計	1,660,140
正味財産の部	
当期正味財産増減額	-413,507
（未払法人税等）	70,000
前期繰越正味財産額	1,665,237
正味財産合計	1,181,730
負債及び正味財産合計	2,841,870

b. 活動計算書

勘定科目名	金額
【経常収益】	4,853,543
受取会費（正・賛助・団体）	502,000
受取寄附金	837,843
事業収益（測定サービス）	3,456,500
その他収益	57,200
【経常費用】	5,332,131
オペレータ手当	1,160,000
旅費交通費	592,610
広告宣伝費（含むネット使用料）	186,049
会議費、通信費、謝礼金	250,924
消耗品、事務消耗品費	1,193,015
賃借料（測定機）	480,000
修繕費、荷造輸送費	643,876
地代家賃、水道光熱費	372,473
雑費、銀行手数料	31,395
減価償却費	421,789
【経常増減額】	-478,588
【経常外収益】	65,081
【経常外費用】	0
【経常外増減額】	65,081
税引前当期正味財産増減額	-413,507
法人税等	70,000
前期繰越正味財産額	1,665,237
次期繰越正味財産額	1,181,730